

第23回愛知県国家戦略特別区域会議 愛知県提出資料

2026（令和8）年2月25日



「調剤業務一部委託事業」の活用

特例活用の背景

- 薬剤師は、薬を患者に渡した後のフォローや医師へのフィードバックといった**対人業務が重要であるが、調剤業務に多くの時間を費やしている。**
- このような中、大阪府（大阪市）で活用されている本特例について、**県内事業者から愛知県全域での実施に向けた提案**があった。

特例措置の内容

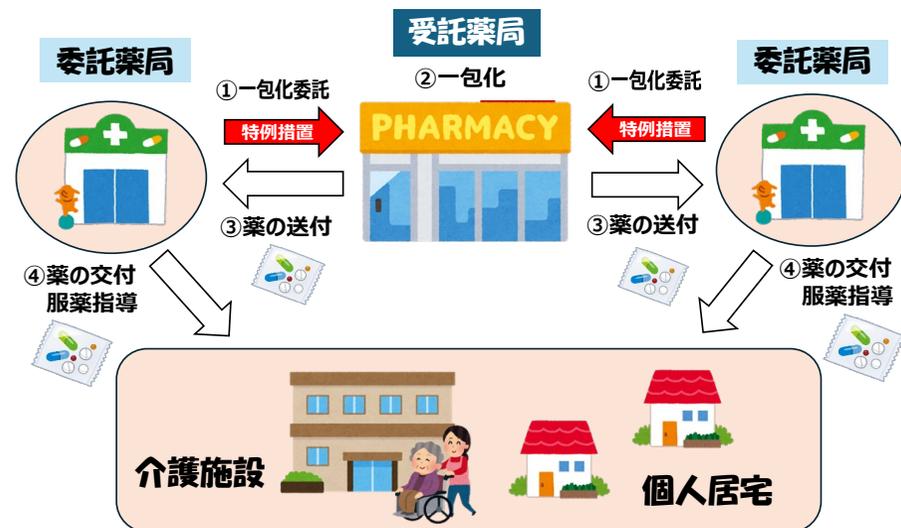
薬局の**調剤業務の一部（一包化に係るものに限る。）**を他の薬局に委託することを可能とする。

業務実施区域

愛知県全域

（薬局に対する指導監督は、愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市が行う。）

※愛知県内の薬局数：3,703店舗
（2025年3月末時点）



期待される効果

◎ 調剤業務の効率化を図り、対人業務の時間を創出！

- 薬剤師の専門性を発揮する業務の充実（投薬後のフォロー、医師へのフィードバックの充実）
- 入退院支援を含めた病院と薬局薬剤師の連携強化、医療・介護の多職種と薬局薬剤師の協働
- セルフメディケーションの推進、生活全般の健康相談・支援

国家戦略特区支援利子補給金の支給事業

事業の概要

●自動車産業を始めとするモノづくり産業の基盤強化に資する物流GX・DX推進事業

→産業貨物等の取扱い拡大に向けた物流拠点の機能強化や人手不足への対応を目的に、最新鋭の物流GX・DX設備を導入した物流拠点を整備

事業イメージ

現状

- 取扱貨物量／輸出額／貿易黒字額が“全国第1位”の名古屋港では、輸送機能・耐震強化のため、港湾整備事業が進行中
⇒ **モノづくりの基盤としての、安定的な物流拠点の機能強化が進行中**
- 地域の産業貨物についてコロナ禍からの回復が進む一方、EC貨物も増高
⇒ **産業貨物を中心に、取扱貨物量の拡大が見込まれる**



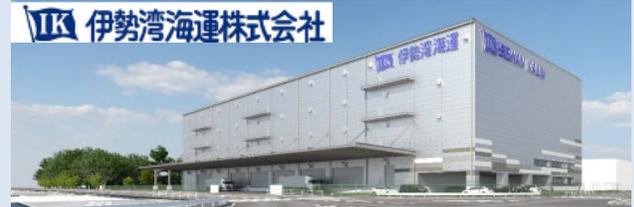
(C)名古屋港管理組合



課題

- **港湾エリアにおける物流拠点整備における災害リスクへの備え**
- **産業貨物の取扱いの安定化やスペースの確保**
- **物流における深刻な人手不足への対応**

モノづくりの基盤強化に資する 物流施設整備（物流GX・DX推進）



産業貨物の受入増対応 & 地域の物流GX・DXを牽引

**G
X**

太陽光発電により施設全ての電力を確保
+ 余剰は地域のモノづくり産業等へ送電
⇒ **脱炭素化・災害時のBCP対応**

**D
X**

入出庫受付予約のクラウド化等
(可視化・リアルタイム化)
⇒ **トラックドライバーを含む
物流全体の省力化・生産性向上**

期待される 効果

- 事業継続性・機能性の高い物流施設の整備により、産業貨物の取扱いの安定化及びサプライチェーンの強靭化が図られ、モノづくり産業の基盤強化に寄与
- モノづくりの更なる集積が進み、成長産業・先端技術の中核拠点の形成及び、国際競争力強化に繋がる